



中高一貫部だより R7年度 前期 R7.9.11 発行

中高一貫教育推進部では、学校案内のリーフレットの作成や会津大学・会津大学短期大学部との連携事業、SSH産業社会や総合的な探究の時間、中学校のRP(レインボープロジェクト)の時間における探究活動のコーディネートなどを行っています。

R7 前期の中高一貫部だよりでは、【探究活動】、【中高交流のイベント】、【大学生の先輩の話を聴く会】などについてお知らせします。「会津学鳳」ならではの行事ばかりですのでお読みください！

R7年度のリーフレットが学鳳中高HPに掲載されています。また、学鳳noteも是非、御覧ください。生徒達の学校生活の様子が配信されています。



<https://aizugakuho-hs.note.jp/>

学鳳noteもご覧ください！



【中学校 RP 中高交流会】 中3生の課題研究に高校生がアドバイス！

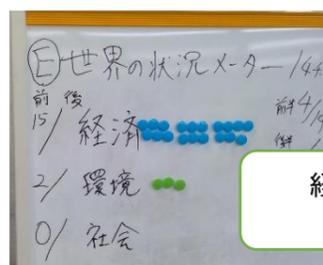
中学校3年生は興味関心のある分野に関する課題を自ら発見し、基礎的な課題解決型の探究学習を行っています。中高一貫校の特色を活かし、今年度は高校2年生 SS コースからは9名、GS コースからは9名の総勢18名が、中学校3年生各クラスのRP(総合的な学習の時間)に出向きアドバイスをしました。まず、高2生が現在取り組んでいる探究の内容や、これからどのような調査をしていくのかについてなどを、全体に向けて話した後、グループに分かれてそれぞれの探究について質問したり、助言したりして交流を図りました。中学生は高校生のアドバイスにうなずきながら納得している様子が見られ、高校生にとっても、助言をすることで自分たちの探究を見直す機会となりました。



【高1 SSH 産業社会】

SDGs ワークショップ by JTB - よりよい世界を目指すため

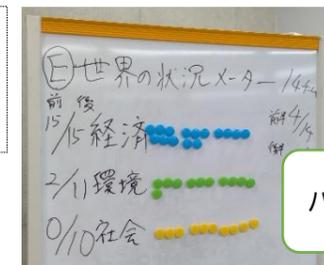
昨年に引き続き、6月11日(水)に「SDGs ワークショップ」を開催しました。講義を受けた後、3つの世界に属する2~3人のグループに分かれてシミュレーションゲームを行いました。生徒たちは架空の国の国民となり、刻々と変化していく世界の経済・環境・社会の状況に合わせて、「お金」と「時間」カードを使って世界を発展させるための80種類のプロジェクト(貿易経路の整備、漁獲高の制限、Uターンの促進、砂漠化への対処など)を達成すべく、カードを片手に自分たちの取るべき行動を考えました。達成されたミッションに応じて、世界の経済や環境、社会の状況はさらに変化していきます。最初は、経済ばかりが優先されましたが、中間報告にて、経済が発展した国では、何の対策もしなければ環境が悪化し、社会の分断も進む可能性が高いということが分かり後半は改善する工夫をしました。よく耳にするSDGsですが、経済と環境、社会のバランスをとることの難しさを実感したのではないかと思います。また、仲間と協力したり、他のチームと交渉したりとコミュニケーションの大切さも学んだ様子でした。



刻々と変化していく世界の状況を「世界の状況メーター」としてマグネットで可視化します。生徒達はボードを見ながら、自分たちの取るべき行動を考えます。

経済優先だと世界が...

後半になると



バランスO!

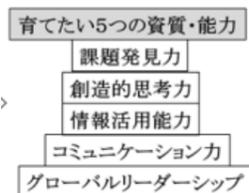
《生徒の感想》

○ 講義の中で行った SDGs のカードゲームでは、目標達成と周囲へ及ぼす影響をどちらも視野に入れながらの調整が難しく、特に前半は、自分チームの目標を達成させることに必死になってまわりの状況を認識することが出来ず、世界の経済・環境・社会のバランスが良くなかった。しかし、このような失敗から現実世界での目標達成や世界のバランスを上手く保つことの大変さを改めて実感できて良い経験になったと思う。また、SDGsの本質1の「世界はつながっている・私も起点」という言葉に、今まで SDGs 問題をどこか他人事だと思っていたが、今後は自分事として捉えようという気持ちになった。

○ 今日のカードゲームで、互いにコミュニケーションをとることの大切さや、いろんな視点から物事を見る大切さなどを感じました。私たちの世界では、各国が取り組んだプロジェクトがつみ重なって世界に大きな影響を与え、経済が発展する反面発展すぎて環境が破壊されまくりました。全てのメーターをバランスよく発展させながら各国のゴールを達成するのはとても難しく、だからこそコミュニケーションをよくとって周囲の状況を把握して、助け合うことが必要不可欠だと思いました。現実よりも単純化されたゲームでも難しいということは、現実はもっと厳しいのだろうと感じました。SDGsを達成するためには地球で暮らす全員が力を合わせる必要があると思います。今日の講義を受けて気づくことができたの、積極的に行動したいです。

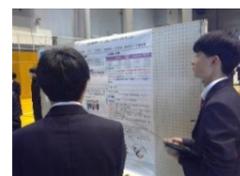
— 中高を貫く会津学鳳の探究活動 —

本校はスーパーサイエンスハイスクール指定校として、Society5.0の実現と、新たな情報化の時代の創造、及びSDGsの達成に代表される持続可能な社会の形成に貢献することができる人材を育成するため、以下のようなプログラムを組み、探究活動を行っています。中学校1年生より探究活動の基礎を積み重ね、多様な課題研究と発表とを繰り返し実施することで、生徒の「課題発見力」「創造的思考力」「情報活用能力」「コミュニケーション力」「グローバルリーダーシップ」を育てることを大きな目標としています。



中学生 探究へのチャレンジ	1年:「会津に関する課題研究」 自然、歴史、文化、産業等の地域に関する探究活動
	2年:「防災学習」 震災への理解、防災、減災に関する探究活動
	3年:「課題研究」 教科横断型の分野選択制による探究活動

「課題研究発表会」への参加



昨年度の「課題研究発表会」の様子

高校1年次：GS(グローバル探究コース)とSS(サイエンス探究コース)のいずれかを選択。

高校1年生 探究の基礎	SDGsとサステナビリティの基礎を学び、研究の進め方(基本的な手順・手法)を学ぶ。 GS:地域課題探究 / SS:基礎的な課題探究
高校2年生 探究の実践	GS:「社会科学」「芸術」「家政・福祉」「地域創生」「ALMS(高校生による会津地域活性化プロジェクト)」「保健・スポーツ」「人文・言語」「教育」の8つのコースに分かれ、それぞれの興味関心に基づく探究活動を行う。 SS:「情報班」「物理班」「地学班」「化学班」「生物班」に分かれ、それぞれ自分たちで決めたテーマに基づき、グループごとに探究活動を行う。
高校3年生 探究のまとめ	探究のまとめ

以上のように、生徒達は自ら課題を発見し、課題解決に向かっていく主体的な態度や科学的思考力、他者と協働する力など、様々な能力を身に付けていきます。

【中3、高1、2 探究】

福島大学 HP の記事

探究ガイド by 福島大学の先生

5月21日(水)は中3生、高校1年生、22日(木)は高校2年生に向けて福島大学よりの4名の先生をお呼びして、探究における「問いの立て方」「調査の仕方」「データの分析の仕方」に関するガイドをいただきました。高校生の視点での問いの立て方のポイント、RESASによる分析など、大学の先生ならではの探究のアプローチを学ぶことができました。

《生徒の感想》

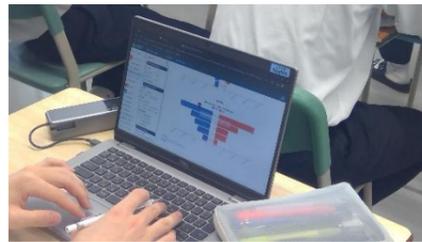
○「答えを出す必要性」「答えを出す手段」を意識しながら改めて探究のテーマを考え直したいと思いました。また、高校生の自分たちでもわかりやすいように細かく丁寧に教えてくださったので、しっかり理解できました。

○私は去年の探究活動で、仮説とリサーチクエスチョンにとても頭を悩ませられた。本来結論や考察、今後の展望には仮説の答えとなる部分を提示するはずが、つながりが見れないような仮説と結果になってしまった。そのため、今回の講義ではどのように仮説をたてればよいのかや、答えを出す必要があるのかと自分で結果が出せるかの2点で考えると、よりよい仮説をたてられるということが理解できてよかった。今年の探究ではこれらを活かして活動できるよう努めていきたい。

○OPDACについて自分が知っていることより更に深く知ることができました。分析結果のまとめ方やグラフの使い方を今後の自分の探求にも生かしていきたいです。

○目標設定の仕方について学ぶことができ、自分の課題設定の問題点について見直すことができました。また課題は大きくしすぎると検証しなければいけないことが多くなってしまったため、できるだけ小さくし、具体的に、積み重ねて結果を出すことが大事だと思った。

○他の人と差をつけるためには地域性を出したり独自性があることが大切だと分かりました。問い設定が研究で一番重要なのでしっかり吟味して問いを立てていきたいです。



教えることができてよかった。

○学校で改善してほしいところについて話したときに、意外とみんな考えていることが同じで緊張をほぐしてから話し合えたことがよかった。また、中学生が大人びていてすでに進路をある程度決めていたり高校生に対してもしっかりとコミュニケーションをとれていて質問事項もきっちりとしていたので感激した。また、自身の経験を後輩に伝えることができ、自分自身も高校3年生の先輩から今のうちにしておくべきことをアドバイスしていただけたので、とても参考になった。

【恒例行事！ 中・高 先輩の話を聴く会】 大学生の話にやる気UP！

8月20日(水) 夏季課外後半の初日、この春本校を卒業し、大学生活を送っている先輩をお呼びし話をいただきました。第1部は中学生に対して、「定期考査の大切さ」「日々の学習(しっこん、マイトレ)に対する姿勢」「資格試験でモチベーションを」などを、第2部の高校1年生に対しては、「大学生活について」「志望校をどのように決めたか」などを話していただきました。中学生、高1生にとって、受験・・・遠い先のことと思わずに自分の行きたい進路を見つけて欲しいです。また、進路が漠然としている、まだ決まっていない、大学進学希望ではない人にとっても、中学生生活、高校生活に生かせるお話だったと思います。



【講師を務めてくださった先輩方の進学先】

- 福島県立医科大学医学部医学科
- 東京海洋大学海洋環境学部海洋資源エネルギー学科
- 早稲田大学法学部
- お茶の水女子大学生活科学部心理学科
- 東京大学文科三類
- 大阪大学基礎工学部システム科学科
- 福島県立医科大学保健科学部診療放射線学科
- 福島大学人文社会行政政策学類
- 山形大学理学部理学科

《生徒の感想》

○今回話を聞いて大学受験には中学生の今のうちから基礎を固めることがとても大切だとわかった。どの先輩方も中学校時代にたくさん努力したという話を聞いて、今のうちからできることをどんどんやっていきたいと思った。特にどの先輩も定期テストを頑張ることを勧めていたのでまず期末考査を頑張りたい。

○大学生の先輩の話を聞き、将来を見据えて行動することの大切さを実感しました。失敗や悩みも経験の一部として前向きに捉える姿勢に感銘を受け、自分も挑戦を恐れず行動していきたいと感じました。将来の選択肢を広げるためにも、今できることを一つひとつ積み重ねていこうと思いました。

○自分の将来について考える機会がまだ少なかったのでこのような先輩から直接話が聞けるような貴重な体験ができて自分の進路や将来について考える良い機会になった。また、大学での過ごし方や、大学ではどのようなことをしているのかなど中学生ではあまり知ることができないものを知ることができてよかった。中学生時代のことは今の自分に活かせることがたくさんあったので、実践していきたいと思った。

○先輩たちの努力や大学生活の楽しさなど非常におもしろく、ためになる話が聞けていい経験ができたと感じました。大学を決めるまでやっぱりたくさん悩んでオープンキャンパスに行ってみることが大切だと知りました。自分に合った大学で将来の夢にたどり着けるように努力していきたいと感じました。

【中高交流会】 会津学鳳1年目～6年目の生徒たちが集いました！

昨年度よりスタートした中高一貫の行事、「中高交流会」です。夏休み前日の7月18日(金)に実施しました。中学1年生から高校3年生までの約830名を4～5名のグループに分かれて、アイスブレイクで緊張をほぐした後、「会津学鳳をよりよくするには？」を話し合い、クラスで共有しその後のフリートークでは、下級生が上級生に質問したり、上級生がアドバイスしたり、また、共通の話題で盛り上がるグループもありました。2年目ともあり、先輩たちがうまくリードしてくれていて頼もしく感じました。中学生だから…高校から入学したし…ではなく、同じ学び舎で過ごす生徒同士、交流できた時間になったかと思います。来年度は、会のファシリテーターも高校3年生に任せたいと思います。今年度でまだ、2回目の行事です。会津学鳳がより良くなるよう、生徒たちからの次年度へ向けての改善点を参考に来年度はもっと充実した会になることを期待します。



《生徒の感想》

○「初めて部活の先輩以外の高校生と話すことができ勉強や高校生活についてのことなどを知ることができてこれからの学校生活に活かしたいなと思いました。高校生や中学生



の先輩と話すことができ楽しかったです。今日の高校生や中学生の先輩の交流はためになったと思います。

○自分の進路や受験について自分が持っている知識を伝えて説明するのが難しいと感じた。また、自分は学鳳中の学校生活については、あまり知らなかったが、中学生からの話を聞いて高校との違いを知ることができて面白かった。

○今回の交流会を通して、自分の進路を見直したり、後輩にアドバイスを伝えることができる機会となった。それ以外にも、会津学鳳をより良くするための改善案などの話し合いなどいい経験となった。中学生にアチーブメントテストについて

後期のお便りで感想等をお知らせします。(予定)

- ◇ 高1、GSコース現地調査
- ◇ 先輩とのスーパートーク(本校を卒業して社会人として活躍されている先輩との交流)
- ◇ アクセンチュアさんによるデータサイエンス講習会
- ◇ TOPPANさんによるSociety 5.0講演会
- ◇ SSH 産業社会、SSH 探究の中間発表会
- ◇ 会津大学、会津大学短期大学部によるスポット講義
- ◇ SSH 成果研究発表会 など…

学鳳noteも是非フォローしてください。いろいろ記事がUPされております！